

市町村名		名護市				
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【中期的検証事業】						
事業名	農産物6次産業化支援拠点施設整備事業(アグリパーク)			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-キ フロンティア型農林水産業の振興	
	担当部課名	農林水産部	園芸畜産課	事業実施年度	平成24 ~ 平成28年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
事業内容	名護市の農家所得の減少、就農者数の減少、農産物全体の粗生産額の著しい低下等の課題解決を目的に、6次産業化と観光とを融合したアグリパークを整備する。加工支援施設、ショップ、レストラン、観光農園の施設がある。					
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )					
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成28年度	合計
	実績報告上の総事業費(最終)	672,949	361,268	427,282	172,540	1,634,039
	A. 予算現額	692,054	466,264	479,234	173,616	1,811,168
	B. 執行済額	672,949	361,268	427,282	172,540	1,634,039
	うち 交付金充当額	538,359	289,014	341,825	138,032	1,307,230
	執行率(%) (B/A)	97.2%	77.5%	89.2%	99.4%	90.2%
	執行状況の説明	主な整備内容は平成24年度事業において加工支援施設、平成25年度にショップ施設、平成26年度にレストラン及び第1観光農園、最後に平成28年度に第2観光農園等の整備を行い施設全体が完成した。 平成25年度と平成26年度の執行率が低い値となっているのは、入札の執行残によるものである。全体では平成25年度と平成26年度の執行率が影響し、90.2%となった。				
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		H25年度	H26年度	H28年度		
	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園の建築 工事着手	目標			着手	
		実績			着手	
	レストラン施設・観光農園・エントランス敷地造成設計、 建築設計及び建築・造成工事の実施 ①レストラン施設 ②観光農園 ③エントランス	目標		①～③実施		
		実績		①③実施、 ②2棟の内、1棟実施		
観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、 建築設計等及び土木工事並びに建築 工事の実施	目標	敷地造成設計、 土質調査、建築 設計、土木工 事、建築工事				
	実績	ショップ施設の敷地 造成設計、土質調 査、建築設計、土木 工事、建築工事				
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		H25年度	H26年度	H28年度		
	観光ハウス、栽培ヤード、ハーブ園整備の 完了	目標			完了	
		実績			完了	
	レストラン施設・観光農園施設・エントランス 整備の完了 ①レストラン施設 ②観光農園施設 ③エントランス整備	目標		①完了 ②完了 ③完了		
		実績		①完了 ②2棟の内、 1棟完了 ③完了		
観光農園施設の敷地造成設計、土質調査、 建築設計等及び土木工事並びに建築 工事の実施	目標	敷地造成設計、土 質調査、建築設 計、土木工事、建 築工事				
	実績	ショップ施設の敷地 造成設計、土質調 査、建築設計、土木 工事、建築工事				

**事業完了後の取り組み**

事業完了後の成果目標	成果目標(指標) ■ 中期にわたる事業効果 □ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		H30年度	R1年度	○年度	○年度	R2年度 目標/発現年度
	アグリパーク来場者数	目標	100,000人	200,000人		
	実績	114,150人	102,006人			50,593人
状況説明	<p>【H30年度】 ・グランドオープンを平成30年4月に終え、入園者数目標人数10万人に対し実績は114,150人となっており目標比114.2%となっている。</p> <p>【R1年度】 ・入園者数目標人数20万人に対し実績は102,006人となっており目標及び前年度を下回っている。</p> <p>【R2年度】 ・入園者数目標人数30万人に対し実績は50,593人となっており目標及び前年度を下回っている。</p>					

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
---	--------------------------------

<p>【H30年度】 ・平成25年度から順次供用を開始してきており、平成30年度にグランドオープンを迎えた。周知活動や農畜産関係のイベント等の積極的な開催により、年々入園者数は伸びてきており、今年度は目標以上の実績となった。入園者数増加に伴い加工研究室、観光農園におけるレンタル野菜園、体験教室等の利用件数も年々伸びており、今後も利用件数増加が期待される。 ・令和2年度の目標達成のためには、これまで通り周知活動やイベントを積極的に開催するとともに、体験教室等の拡充や加工研究室の積極的な活用、隣接する観光施設との連携強化が課題である。</p> <p>【R1年度】 ・入園者数が目標値に満たず、前年度を下回っていることについて、日韓情勢の悪化や、新型コロナウイルスによる県内外からの観光客等が大きく落ち込んだことが最大の要因であると考えられる。 ・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと思われるため、感染拡大に配慮しつつ、入園者数を増やす取り組みが課題である。</p> <p>【R2年度】 ・入園者数が目標値に届かず、前年度と比較しても下回っていることについては、新型コロナウイルスの流行による県内外からの観光客等が大きく落ち込んだことに加え、集客率の高い各種イベントの開催を断念せざるを得なかったことが最大の要因と考えられる。 ・今後も新型コロナウイルスの影響が続くと思われるため、感染症対策による安全確保に配慮しつつ、入園者数を増やす取り組みが課題である。</p>	<p>【H30年度】 入園者数のさらなる増加の為に周知活動やイベントの積極的な開催、指定管理者との定期的な会議による情報共有を行い、体験教室の拡充や加工研究室の積極的な活用、隣接する観光施設との連携強化を行う必要がある。</p> <p>【R1年度】 ・令和2年度以降も引き続き新型コロナウイルスの影響が続くと思われるため、感染症対策に配慮しながら、イベントを実施するなど、入園者数を増やす取り組みが必要である。</p> <p>【R2年度】 ・令和3年度以降も引き続き新型コロナウイルスの影響が続くことが想定されるため、感染症対策を講じながら、独自色を打ち出した施設の魅力発信とイベント開催方法の検討など、安心して入園できる環境づくりが必要である。</p>
--	---

**今後の取り組み方針**(関連・同種事業へのフィードバック等)

<p>【H30年度】 ・入園者数を増加させるために施設の周知、観光客の誘致、イベントの拡充をはかり、体験教室の新メニューの拡充を図る。加工研究室利用の増加を図るために加工研究室の周知の強化を行う。リーフレットを公共施設や大型店舗等に置いてもらったり、インターネットやSNSを通じて施設の周知を行う。指定管理者である沖縄美ら島財団の集客に関するノウハウを活用し、名護市関連施設とも連携した広報活動を実施していく。 また、隣接する観光施設と定期的に会議を開き、情報共有を行うとともに共同イベントの開催や連携強化に向けた課題解決を行っていく。</p> <p>【R1年度】 ・引き続き指定管理者との月1回の定例会議、隣接する観光施設との定期的な会議を行い、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮しつつ、入園者数増につながる取り組みを模索する。</p> <p>【R2年度】 ・指定管理者との月1回の定例会議を継続しながら、隣接する観光施設との定期的な会議による相互連携を図り、本施設をコミュニティバスの駐車場として設定し人を呼びこむ環境を作るなど、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応しつつ、入園者数増につながる取り組みを検討、模索する。</p>
---